

美のエロティシズム化

1. 最近のメディアでは男性・女性両方をエロティックに描く傾向が強い。これらの性表現を解釈する方法を学ぶことは、子どもたちにとって大切である。ここでは、どのようにしてメディアが女性や男性をエロティックに表現するか調べる。特定のイメージがかもしだすエロティック・パワーとその効果について考えることが、この活動の目的である。

a) まず、映画かファッション雑誌のエロティック・イメージを探してみよう。ジーン・キルボーン (Jean Killbourne) 氏の講演による短編映画「やさしく殺して」(*Killing Us Softly*, National Film Board, 1979; 16mm, color, 28min.) を見るのもよい(ただし高校3年生のみ)。イメージを点検するため、こんな質問から始めてみよう。主人公の目は観客の方に向けられているか? 口は開いているか? 頭は上反ってないか? 男性と女性は互いにどんな関係で位置づけられているか?

b) ヨーク大学の社会学者ジュディス・ポズナー (Judith Posner) は、性の商品化をこう表現している。「無抵抗、無防備、財産という付随的な意味を持つ商品のようなイメージ。その最も極端な例が犠牲者としての提示である」。また、女性はほとんどの場合、商品として扱われるとも指摘している。性の商品化は、暴力を受容できるものにする。犠牲者はモノとなり、本当の人間ではないからである。次のような観点から女性のエロティックなイメージについて考えてみよう。商品化の特徴は、イメージのなかにはっきり表われているか? その特徴はどのように伝えられているか? 性的なニュアンスをまったく持たないストレートなイメージ写真と比較し、その違いを調べてみよう。

c) ポズナーは、女性が男性よりも商品化されるケースが多いと指摘する一方、男性を商品化するイメージの増加についても指摘している。男性誌、女性誌双方におけるこれらのイメージを調べ、男性の商品化と女性の商品化のイメージがどう違うか比較してみよう。

2. 雑誌のモデルのポーズをまねすると、ちょっとしたパロディになる。ドラマ練習として、メディアでよく描かれる人工的なポーズ(半開きの口など)をまねしてみよう。また、男の子に女性のポーズを、女の子に男性のポーズをとらせるなど、性役割を入れ替えてみてもおもしろい。この活動をとおして何がわかったか、最後に話し合ってみよう。

生活と哲学

- これらの社会科、家庭科（消費者教育）、リテラシーは、日常生活を批判的に吟味する能力の育成を目的としている。
- これらの「市民・公民」と「家庭科」の先に、生の基盤に関する批判的吟味としての哲学を接続すべきである。
- すなわち、「市民＝主権者」教育としての哲学＝フランスの哲学教育の理念。

生活保護という制度を知らない。知っているも、それを使うことが市民の権利だと知らない。

万引き容疑で逮捕・夫婦の車中

死後数週間 ミイラ化の乳児

茨城県警高萩署は6日、同県高萩市のスーパーで万引きしたとして窃盗容疑で現行犯

逮捕した夫婦の乗用車から、ミイラ化した男の乳児の遺体が見つかったと発表した。調

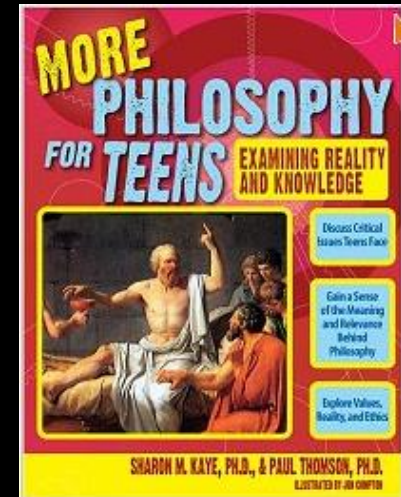
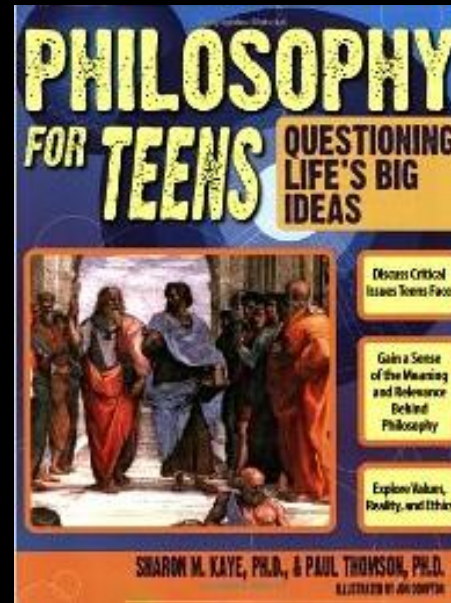
べに対し、夫婦は生活に困り車で生活していたといい、死亡した乳児は「自分たちの子ども。かわいくてどうすることもできなかった」と供述し

2010年5月7日朝日新聞

- アメリカの中学生向けの哲学の教科書（Philosophy for Teens）は、問題解決型学習と正当的周辺参加型学習に基づいている。

Philosophy for Teens 目次

- ◎ 第一部 美
- ◎ 第二部 真理
- ◎ 第三部 正義
- ◎ 第四部 神



- ◎ 第一部 美 (beauty)
- ◎ 第一章 愛とは何か
- ◎ 第二章 美とは事実か、好みの問題か
- ◎ 第三章 芸術の目的とは何か
- ◎ 第四章 健康と美には違いがあるか

第一章 愛とは何か

- ◎ 7～8頁
- ◎ 若者ジェンとマットの会話：写真の彼女は美しいか。ジェンは写真の女性が好き。
- ◎ 美は魂のなかにある（マット）
- ◎ 対象に外在する（ジェン）。

質問：8頁

- ◎ マットは、なぜ美は見えないと言い、ジェンは見えると言うのか。
- ◎ あなたが美しいと思う人を記述しなさい。その人はその記述された性質ゆえに美しいのか、それとも他の理由からか。
- ◎ あなたが愛している人を記述しなさい。なぜその人を愛しているのかと問われたら、何と答えるか。
- ◎ ロマンティックな愛と友愛とどう違うか。

哲学説の紹介（9～11頁）

- ◎ 「愛とは何か」と愛と美の関係に関する伝統的な哲学説の紹介
- ◎ プラトン『饗宴』：愛の合理性、イデア説
- ◎ モンテーニュ：愛の不合理性
- ◎ 哲学者や説に関する囲み記事
- ◎ ジェンとマットの意見との関係

議論のための問題（12頁）

- ◎ 1. ジェンとマットの意見を、哲学説を関係づけなさい。
- ◎ 2. 実生活で二人のひとのなかから一人を選ぶ場面（旧友と恋人）を想定しなさい。その選択は合理的か非合理的か。
- ◎ 3. すべての美しいものには美のアイデアがあるというプラトンの考えに賛成か。
- ◎ 4. 合理的であることと自由であることの、どちらがあなたにとって重要か。
- ◎ 5. 友情が愛情に変わることはあるか。

活動 activities (12頁)

- ◎ 活動 activities
- ◎ 1. あなたの愛の哲学をうたった歌を書きなさい。
- ◎ 2. 親友に、なぜその人を愛しているのかを書いた手紙を書きなさい。

社会での行為 community action steps (13頁)

- ◎ 1. グループで野外キャンプに行き、共通の課題に挑戦してみなさい。
- ◎ 2. 年上の親戚に小説を読んであげて、敬愛していることを示しなさい。
- ◎ 3. 地域の子どものためのお兄さん・お姉さんになりなさい。
- ◎ 4. 中学生の電話相談のヴォランティアをしなさい。
- ◎ 5. あなたの学校で「ヴァレンタインの日の祝祭」を計画しなさい。

特 徴

- ◎ 同世代の会話から問題に入り、哲学説による問題の定式化
- ◎ 「ディスカッション」と「実践」
- ◎ 「社会での行為の段階 community action steps」がきわめて意義深い。座学やおしゃべりに終始しないことの重要性。
- ◎ とくに道徳は、実践し、そのなかで学ぶことが大切である。

ブルニフィエの哲学教育

- ◎ O. Brenifier. *L'apprenti philosophe: L'Etat et la societe*. Nathan, 2002.
- ◎ →高校用のテキスト
- ◎ PfTとほぼ同じ構成。
- ◎ 会話文→哲学説の紹介→質問と議論
- ◎ 行為がないのが残念



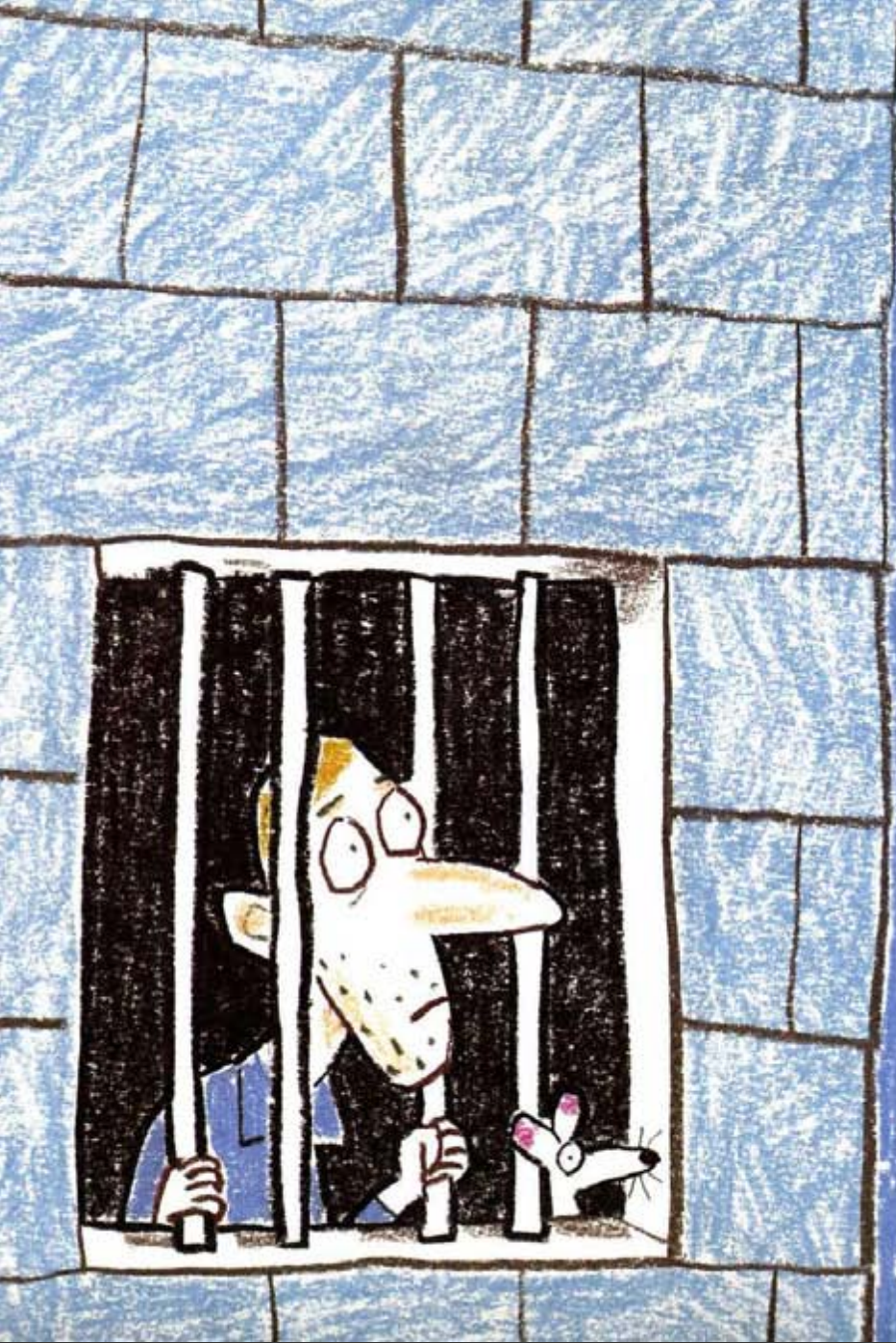
『子ども哲学』における対話



ブルニフィエ『こども哲学』

- ◎ 人生ってなに？：しあわせ、不幸、存在、人生の意味、死
- ◎ よいことと、わるいことってなに？：ルール、やさしさ、ききわけ、ことば、自由、思いやり
- ◎ 自分ってなに？：どうぶつ、成長、親、外見、自由
- ◎ きもちってなに？：愛情のしるし、やきもち、けんか、恋、ともだち、臆病

- ◎ 知るってなに？：わかる、頭をひねる、頭に入れる、学校、考え、想像力
- ◎ いっしょにいきるってなに？：ひとり、そんな、意見、平等、しごと、リーダー
- ◎ 自由ってなに？：意志、みんな、おとな、囚人、けんり、やくわり



ろうやのなかでも
じゆう
自由でいられる？

ううん。だって、
行きたいところに行け
ないんですよ。



そのひとの自由をとりあげておいて、
みんなの自由を尊重しなさい、なんて言え



つみをつくなわずに逃げだし
いまより自由になれるかな



きみは？ どんなときでも、
行きたいところに自由に行ける？



禁止って、
自由をじゃまするだけのもの？

うん。だって、
そう ぞう
想像したり、
考えたり、
ゆめ
夢みたり、
そういうのは
じ ゆう
自由だもん。



ろうやにとじこめられるのは、
からだだけ？



じゆう
自由になるには、
げんじつ
現実から逃げるしかないの？



そうぞう ゆめ
想像したり夢みたり、
それで人生を変えられる？

じゆう
自由って、
ゆめ
夢のなかにし



いられる。自分の運命を
うけいれて、希望を
もちつづけられるなら。



わるくない
これがほく
なんて、思

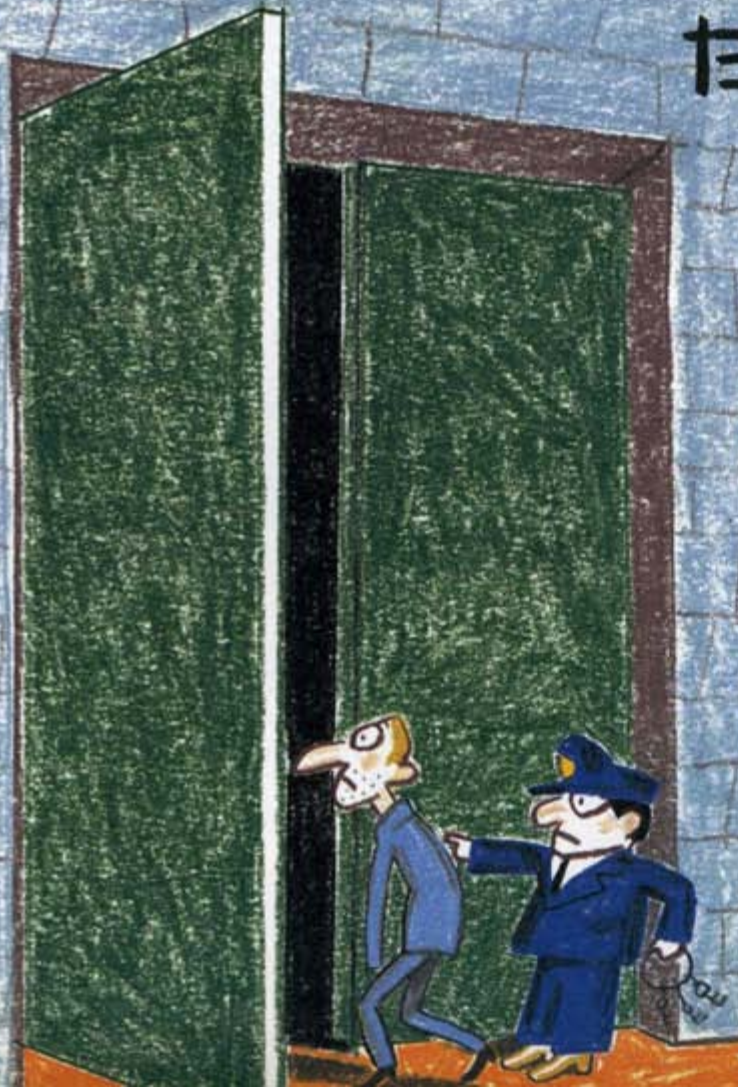
運命をうけいれるって、
ひとにあれこれ指図されるのを、
だまって聞くこと?



希望なん
自由に

運命を変えようとせずに、
希望をもちつづけることなんてできる

むり。だって、^{しゃがい}社会から
^お追いたされちゃったん
 だから。



つかまってるひとのほう
 こんな世のなかゴメンだ

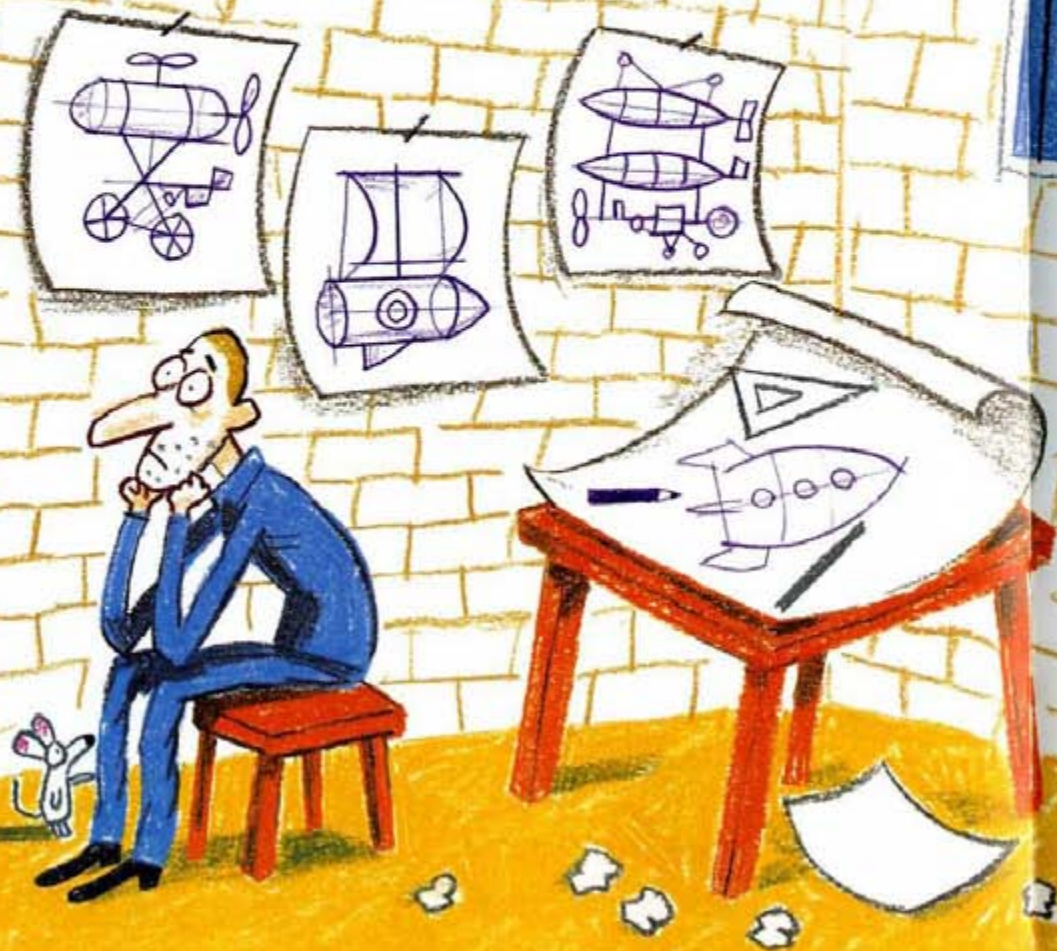


^{しゃがい}社会のなかで生きてゆくのも、
 それはそれで不自由じゃない？



^{げいじゆうか}芸術家だって、
^{しゃがい}って、社会から

ううん。だって、
けい かく
あれこれ計画しても、
じっ げん
実現できないんだよ。



ぼくたちのあたまのなかだって、
じっげん 実現できてない計画でいっぱいだよ。



さき 先のことないまを生き

けい かく 計画って、じっ げん 実現できなきゃ
意味ないの？

けい かく 計画を行動にうつ
何かしてなきゃ、



しゅうじん

囚人は、とじこめられているから、

だれの目にも、自由をうばわれているように見える。

でも、からだをくさりにつなぐことはできても、心まではしばれない。

彼の心は自由自在に、何かをうみだしたり、壁の向こうへめけだしたりできるんだ。

そうは言っても、毎日毎日、あれはダメこれはダメ、って禁止だらけじゃ、

考えだって、行き場をなくしてしまうだろう。

計画するのは自由でも、それを実現しようとする、また壁があらわれる。

そうして彼は、希望をなくし、こんなはずじゃなかったのに…って、

いまの自分の状況に、息がつまりそうになる。

そんなとき、夢の力をかりて現実から逃げだせば、それで自由になれるだろうか。

ぼくは、ぼくの人生の主役なんだ、って思いだして、

自分の身に何が起きたのか、それをまっすぐ見つめ直さなくちゃ。

ぼくは自由だ、っていう意識、それは自分のこの手でつかみとるしかないんだから。

ぼくらひとりひとり、だれもが、言ってみれば、自分自身の囚人なんだ。

一瞬ごとに、息つくまもなく、自分の人生を決めてゆかなきゃならないんだから。

この問いについて
考えることは、
つまり…



…人生は、夢みたとおりになるわ
って、あたまに入れておくこと。



…自分の
そのせし
責任をも

…何をしたかで
そのひとの価値が
決まるわけじゃないんだって！



うわ



…人生のどんな波にも、
うまくのれるようになること。

「こども哲学」での学び

- ◎ 議論形式の哲学教育は、小学校から十分に可能である。
- ◎ 批判的思考の育成
- ◎ 問答による自分の価値（共通・独自）の明確化

生活と哲学

- ◎ これらの社会科、家庭科（消費者教育）、リテラシーは、日常生活を批判的に吟味する能力の育成を目的としている。
- ◎ これらの「市民・公民」と「家庭科」の先に、生の基盤に関する批判的吟味としての哲学を接続すべきである。
- ◎ すなわち、「市民＝主権者」教育としての哲学
- ◎ →教科書作りから始めるとよい。

- ◎ 教材は、学習の過程で収集され、利用され、構成されるべきである。
- ◎ →テキストを固定的・順序的に教える必要はない。
- ◎ 真の問題解決は、人の仮説形成と検証の帰結がその人自身に帰せられることにある。
- ◎ →生活実践のなかで仮説が検証され、PDCAサイクルを形成すること。

ご静聴ありがとうございました